

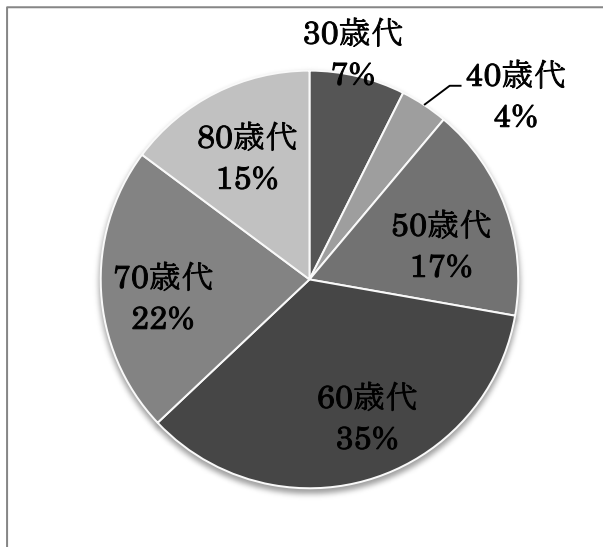
敦賀市庁舎建設候補地アンケート調査 結果

(松原公民館 5月13日説明会分)

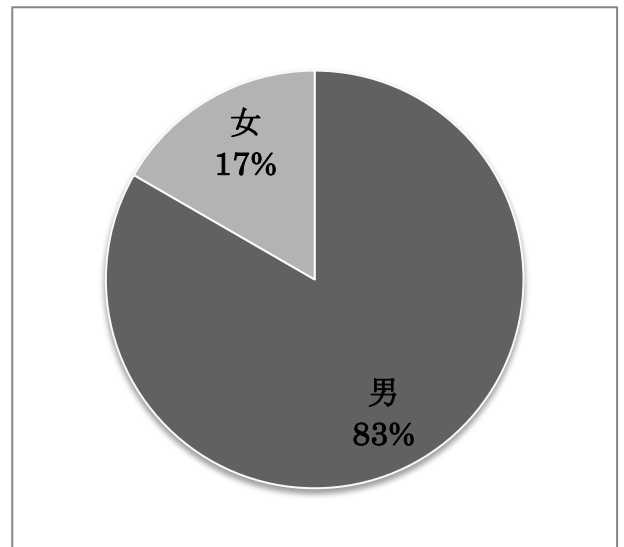
1 説明会参加者情報

(1) 参加者数 54名

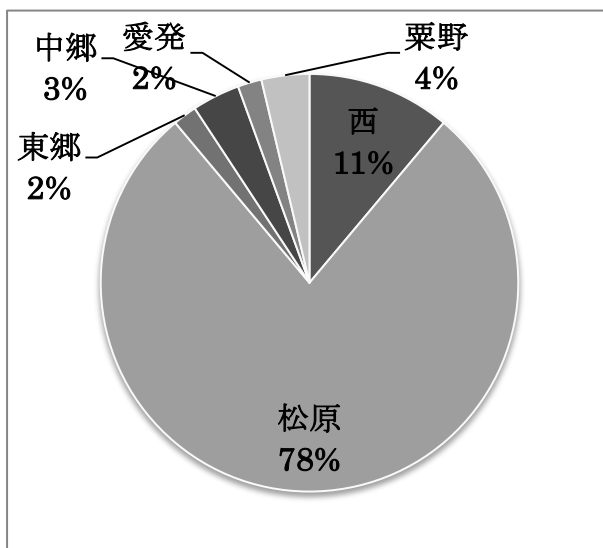
(2) 年代



(3) 男女の別



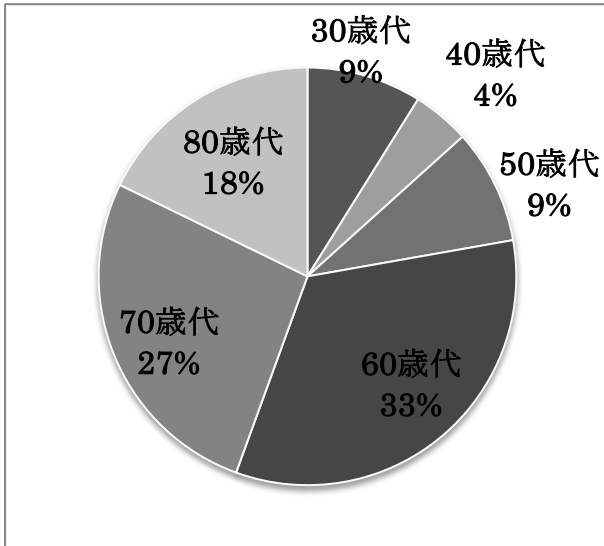
(4) お住まいの地区



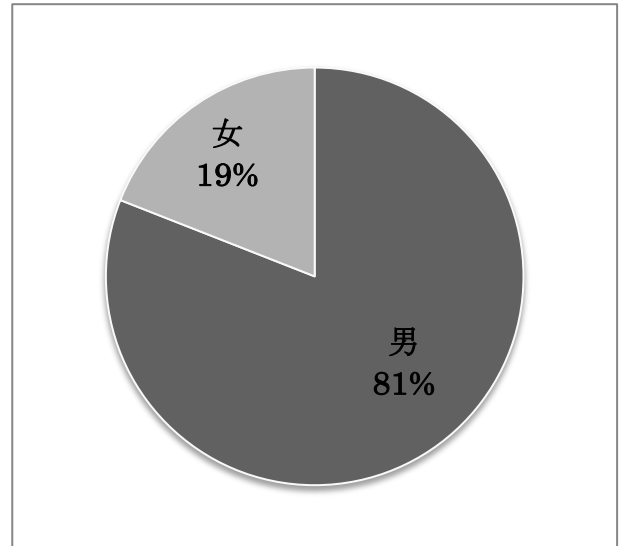
2 回答者情報

(1) 回答者数 47名

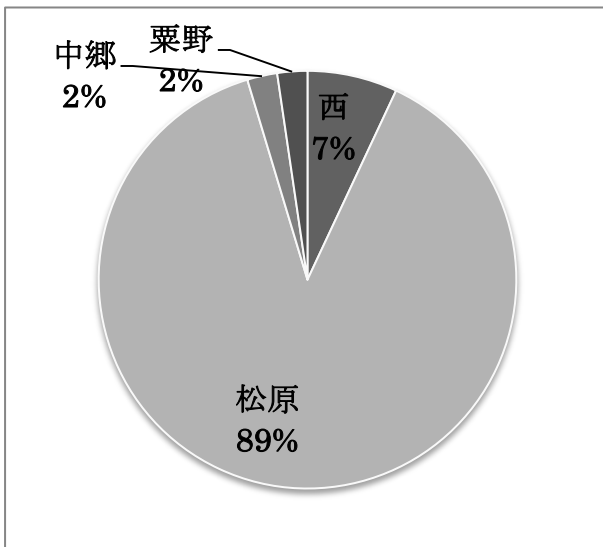
(2) 年代



(3) 男女の別



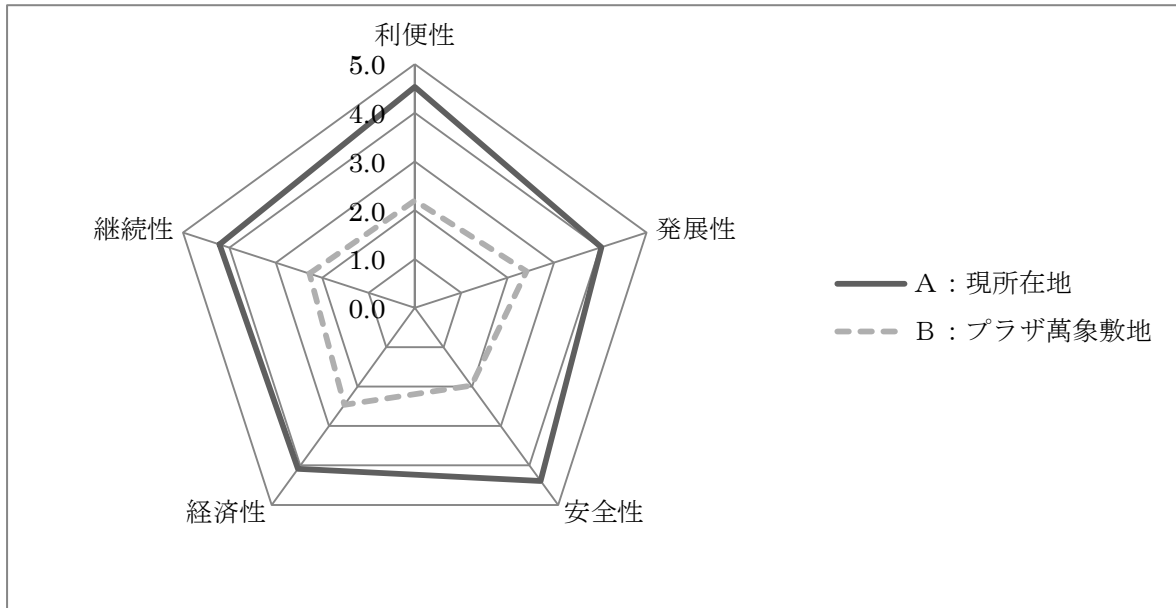
(4) お住まいの地区







2 各候補地の数値評価

候補地である「A：現所在地」、「B：プラザ萬象敷地」について、「利便性」、「発展性」、「安全性」、「経済性」、「継続性」の各視点について5（高い）～1（低い）の5段階評価をいただきました。

平均評価点数

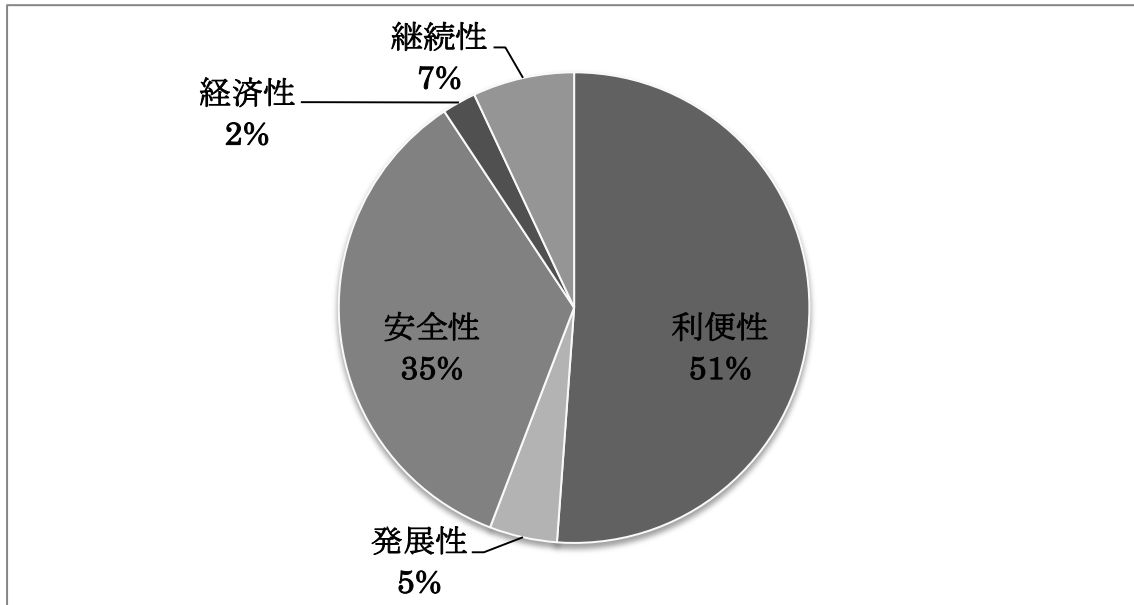


また、「A：現所在地」、「B：プラザ萬象敷地」のほかに新たな候補地がよいと思われる場合は、候補地名を記載のうえ、数値評価をいただきました。回答総数54名中4名が新たな候補地を回答されました。

候補地名	人数	平均評価点数
防災公園（松島中央公園）	1	
郊外又は空きビル活用	1	
他の市有地	1	
(候補地記述なし)	1	

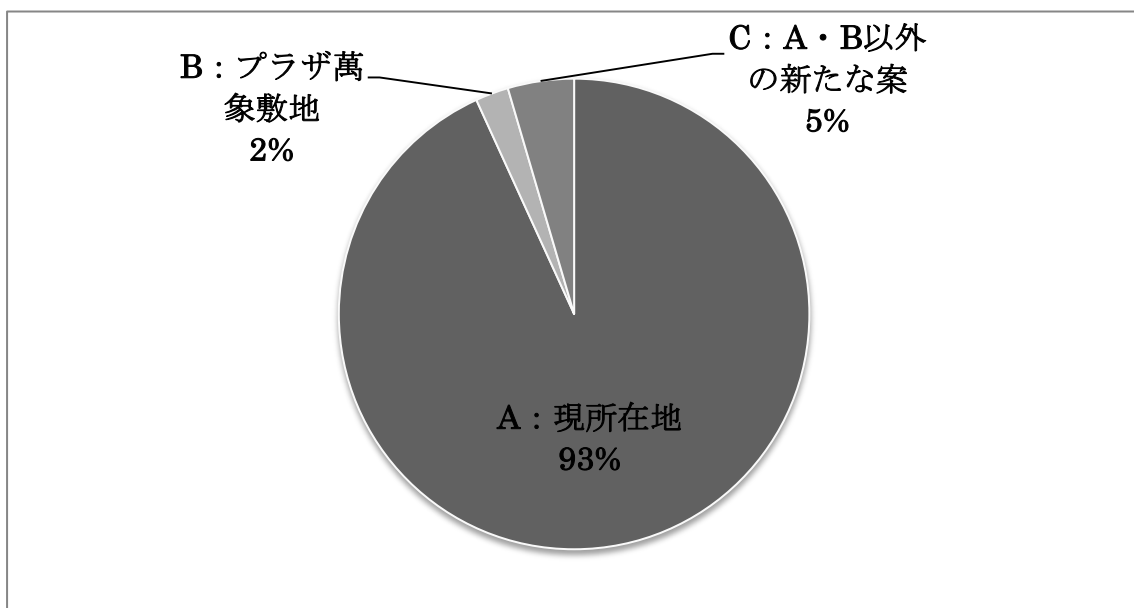
3 重視項目

「利便性」「発展性」「安全性」「経済性」「継続性」のうち、一番重要視する項目を一つ選んでいただきました。



4 総合評価

総合的に判断して、適当と思う候補地を選んでいただきました。



5 候補地等に関し自由意見

- ・現所在地での建替え工事も可能であると思われる（市行政を行いつつ）。
- ・現在地が定着した行政となっているので今のままでよい。
- ・消防署、防災センター等考慮すれば現在地が環境も良く最高地と考えられる。
赤字財政の中で今建替えをする必要はないのではないか。今建替えるのは市民の負担が大きすぎる。
- ・防災重視が必要と考えた場合A案が良い！敦賀市としては折角ある防災と一緒にある現状のあり方を継続の立地として頂きたい。
- ・新幹線の開通と候補地は関係ないと思います。利便性や防災リスクからいっても、A現所在地しかないと思います。
Bの災害リスクが分散される（2か所の防災センター）は、Bプラザ萬象候補地は防災リスクがそれだけ高いということだと思います。
- ・100年の計で考えていく、建替えの方針で「熊本地震の知見を反映しうる庁舎建設の適地であること」とされているのに、現在地よりも被災リスクの高いB案が案としてあがってくるのは違うのではないかと考えます。現在地よりもリスクの低い場所を案としてあげてはどうかと考えます。
意見も出ていましたが、A案にしぼって準備していった方がよいと考えます。
- ・現所在地で賛成。現在でもプラザ萬象で行事があると、図書館を利用する時に車を停められない時がある。東洋町へ移転した場合、警察から離れるのが心配。
- ・現在地で問題ないと思います。
- ・国の財政措置については、行政の中核拠点である庁舎が発災時においても有効に機能しなければならないという前提で庁舎整備に財政措置がされるのであれば、発災時に危険性のあるプラザ萬象敷地のB案では、財政措置が受けられないのではないかと？
- ・市民ファーストで考えてほしい。駅周辺の考えは、市民とあまり関係ない。
- ・プラザ萬象の解体もつたいない。道路事情等萬象敷地はあり得ない。木の芽川に隣接しすぎ、安全性に不安。現所在地で国の財政措置を活用し建替えがベスト。
- ・移転は絶対ダメ。
- ・現在の場所で国の財政措置を得るのが一番。
- ・庁舎は市民のための庁舎で有り駅から便利なのは市外（県外）なので現在地が良い。
- ・交通等駅周辺に集中することで、日常及び非常時のデメリットが大きい。駅前開発面でマイナスに働くのではないかと？何のために建替えをするのか（防災能力の確保）を考えればA案であるべき。B案はハザードマップ上のリス

クが高いのに検討する意味があるのか？

- ・ B案、現在駐車場が催し物がある際満杯であるのに日々の業務が大丈夫なのか？前の道路が狭いのに道路拡張の予定があるか？
- ・ 財政措置こだわらない。A所在地。いつ来るかわからない地震に対して急ぐ必要なし。プラザ萬象敷地は後々お金がかかる。反対です。
- ・ 将来的発展の可能性、又、安全性、継続性という意味では、スマートICの開放もあり、栗野公民館（私有地であるが）についても候補地に挙げていただきたい。
- ・ 降雪地帯及び車社会である敦賀市において、隣接していない施設、機関を「隣接」としてB案のメリットに挙げる意図が不明。
まち再興のコンセプトならば、「駅前」も候補地に挙げるべき。
- ・ A案で2回に分けて建設はどうでしょう。半分くらいの庁舎を建て移転。入りきらなかった部署は各所に分散し現庁舎解体。残りを建設、渡り廊下でつなぐという工程なら、駐車数も確保できるし、消防との間に〇〇ができなくてよいと思います。
- ・ A又はBに決まっても工事期間中の駐車場確保を万全にし、市民に迷惑をかけないようにお願いします。
- ・ プラザ萬象敷地移転については、朝夕の出退勤ラッシュ、敦賀祭りの際の通行止めと混雑、積雪時の除雪作業に伴う交通規制等現状で近辺の自動車道が飽和状態にあるため。そこに混雑を助長する施設を足すのは得策ではないと思います。

現在の市役所は、現在市民文化センターのある桜町から移転してきましたが、その時の中央町は、田んぼがメインの閑散とした場所で、東洋紡の社宅や現在ポर्टンがある場所にあったボーリング場、日本原電の社宅ぐらしか目立った建物がありませんでしたが。40年を経て、中央町の名にふさわしい街並みになりました。今回の移転も同じように現状で閑散としている場所、例えば栗野公民館の隣、工業団地と総合運動公園の間当たり、新幹線の駅舎の近辺、中郷体育館付近などが考えられます。これらは一見辺鄙なところにあるようですが、自動車でのアクセスは ゆめ街道や27号線があるので遜色はないと考えられます。

別の案として、数か所に市役所機能を分散し、空きビルを活用できないかとも考えます。現状ですでに市民協働課や水道課、生涯学習課などが分散していて、B移転案では教育委員会も別棟になります。インターネットで「市役所 分散」で検索するといくつかの実例が出てきます。変わったところでは、商業施設に市役所の一部を入れる。敦賀で言えば平和堂やポर्टンの中に市役所の一部があるイメージです。立体駐車場が満車になっているところを見たことがないためそこを使えばワンフロアまるまる使えそうです。また市内

には、旧神谷医院の建物、旧和久野医院の建物、赤崎にある敦賀ホテルの空きビル、大比田にある きらくやの空きビルなど活用されていない建物が多々ありますがそれらを、解体費用を市で持つとし無料で借り受け、市の事務所として使用することも考えられます。旧ホテルに関してはおそらくオーナーに解体する財力がなく建物が崩壊するまで放置され結局は市で処分することになると思うので使えるうちに使えれば無駄がないと思います。一時的に分散し、その間にA案を実行することも可能かと思います。また市民文化センターの解体を真っ先に行い、その跡地に新市役所を建設する方法もありえると思います。

分散した事務所はインターネットで密に連携させることも可能かと思います。分散した事務所それぞれで、主要な手続きが行えるようにすれば市民の利便性もよくなるとかんがえます。

※すべての項目に回答されていない方がおられることから、回答総数と各項目の回答数が一致しないことがあります。